

現況分析における顕著な変化に  
ついての説明書

教 育

平成22年6月

北見工業大学

# 目 次

1. 工学部	1
--------	---

## 現況分析における顕著な変化についての説明書(教育)研究)

法人名 北見工業大学

学部・研究科等名 工学部

## 1. 分析項目名又は質の向上度の事例名

分析項目 III 教育方法

事例名

文部科学省「新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム（学生支援 GP）」にて採択された「夢を育む e - 学生支援」（平成 19 年度～22 年度）の取組

## 2. 上記1における顕著な変化の状況及びその理由

## ○顕著な変化のあった観点名

観点 主体的な学習を促す取組

(観点到に係る状況)

本学は、学生が快適で充実した学生生活を送り、社会での活躍に向け、それぞれが大きな『夢』をもって卒業していくことを支援するための取組として、学生の修学・生活情報を集約した電子ポートフォリオや教員と学生の電子的コミュニケーションの場である SNS (Social Networking Service) などの ICT (情報通信技術) を活用した学生支援プログラム「夢を育む e - 学生支援」を平成 19 年度より実施している。

本プログラムは、教員 1 人あたり 5 人程度の学生を学部 1 年次から担当する個別担任制、学生の学業成績や個別面談記録など個々の学生の修学・生活支援のための多角的な情報を集約した電子ポートフォリオの専用 LAN による共有システム、ピア・サポート制度と SNS を活用した学生相互および教員と学生との交流・情報交換を活発化させ学生の自主的活動を促進するための環境整備の 3 本柱で構成されている。

個別担任制の実施により、学生に対する修学・支援活動の日常的充実の他、本学が毎年行っている父母懇談会において、個別担任が電子ポートフォリオに基づいてきめ細かい対応を行うことが可能となった。父母懇談会開催時の個別面談に対応した教員数の推移を表 1 に示す。平成 21 年度の教員数は「夢を育む e - 学生支援」を開始した平成 19 年度の 1.5 倍に増加している。また、個別担任と学生の面談記録を含む学生情報の電子ポートフォリオへの記載件数は開設当初の 19 件から 350 件まで急増しており、学生の修学状況・生活状況の共有化が促進したことを示している。

SNS への登録数は開設当初の 22 人から 416 人に増加し、現在の総アクセス数はほぼ 38 万件に達している。SNS は学外に開放されており卒業生も参加可能であるため、在學生は社会人としての先輩からの情報を通じて自らの職業設計を行うこともできるようになっている。

これらの事例に示すように、個別担任制と電子ポートフォリオが機能的に融合した学生支援プログラムの完成によって修学・生活支援に対するきめ細かい取組が著しく向上した。

以上の理由により、教育方法の水準は、「期待される水準を上回る」を超え「期待される水準を大きく上回る」段階まで顕著な変化があったものと判断する。

表 1 個別面談に対応した教員数の推移

年 度	19	20	21
教員数	75	80	116